

管弦楽:

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年(明治44年)創立の、長い歴史をもつオーケストラ。メンバーは約160人、交響曲やオペラの演奏のほか、NHK「ららら♪クラシック」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などのテレビ番組や映画音楽のコンサートなどでも演奏し、1年間に約60万人のお客様に演奏をお届けしています。いろいろな国の指揮者と共演し、日本だけでなく外国にも訪問し、国際的に活躍しています。

東京フィル 検索

東京・渋谷の Bunkamuraオーチャードホールにて



©上野隆文

指揮:

円光寺 雅彦

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ウィーンでオトマール・スウィトナー氏に師事。東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌正指揮者、名古屋フィル正指揮者を歴任。N響、読響、東京フィル、新日本フィル、大阪フィルをはじめほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ響、BBCウェールズ響、ベルゲン・フィル、ブルターニュ管弦楽団などに客演。テレビ等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。



©三浦興一

司会:

相田麻純

東京芸術大学声楽科卒業、同大学院修士課程および博士後期課程の音楽研究科オペラ専攻を修了し、博士の学位を取得。在学中に安宅賞、アカンサス賞および同声会賞受賞。第12回東京音楽コンクール第3位。



月 日 ( )

学校

令和3年度 子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業  
東京フィルハーモニー交響楽団 オーケストラ公演



知ってますか?

10月1日は「国際音楽の日」です

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

開催日程	開催校
12月2日(木)	杉並区立松庵小学校
12月3日(金)	白河市立信夫第二小学校



「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」

新型コロナウイルス感染症の影響下において、学校内外で子供たちが文化芸術の鑑賞や体験・修得をする機会が多く失われております。このため、学校等において実演芸術等をはじめとする多様な文化芸術の鑑賞・体験が享受できる機会を提供することを目的とします。

# とうきょう 東京フィルの やってきた!



はくよく 迫力のあるオープニングでコンサートがはじまるよ



オーケストラの がっき 楽器もご紹介



みんなの「浜辺」の たいげん 体験やイメージは?



オーケストラの演奏にあわ せて身体をたたいて一緒 に音楽しよう!



コンサートでは オーケストラ全部の 楽器が大集合!

はや 速さにびっくり! きれいな音でびっくり! 大迫力にびっくり!

## プログラム

- アンダーソン: **舞踏会の美女**
- (楽器紹介コーナー) オーケストラの楽器、紹介します
- (指揮体験コーナー) ブラームス: **ハンガリー舞曲第5番**
- シヤーマン兄弟: **小さな世界**
- ベートーヴェン: **交響曲第5番『運命』第1楽章より**
- 成田為三: **浜辺の歌**
- オーケストラの名曲を聞いてみよう



オーケストラと からだを 一緒に 動かしてみよう!



オーケストラと 一緒に 「日本の歌」を歌おう!

## 解説

文: 柴田克彦

アンダーソン (1908-1975): **舞踏会の美女**

アンダーソンは、短くてわかりやすい「ライト・クラシック」と呼ばれるオーケストラ作品の数々で高い人気を集めたアメリカの作曲家。彼が1951年に書いたこの曲は、美しい女性が舞踏会で踊っている姿をえがいた優雅なワルツです。のちに歌詞が付けられ、ポピュラー・ソングとしてもヒットしました。

ベートーヴェン (1770-1827): **交響曲第5番『運命』第1楽章より**

ドイツの作曲家ベートーヴェンが200年以上前に書いた、クラシック音楽を代表する1曲。最初の「ジャジャジャ・ジャーン」という音の動きを、ベートーヴェンが弟子に「運命はこのようにしてとびらを叩く」と説明したと伝えられることから、『運命』と呼ばれるようになりました。ほとんどその4つの音だけで作られているのも、この曲のすごいところ。今回は、ワークショップで練習した「ボディパーカッション」で、オーケストラといっしょに表現しましょう!

林古溪 (1875~1947) 作詞  
成田為三 (1893-1945) 作曲  
**浜辺の歌**

今から100年以上も前(大正5(1916)年)に作られた日本の歌。「浜辺を歩いていると、昔のことを思い出す」といった歌詞が、しみじみと歌われます。成田為三は、秋田に生まれ、山田耕筰に学んだ童謡作曲家で、児童雑誌「赤い鳥」に多数の歌を発表しました。代表作であるこの曲は外国の音楽家をふくめて広く親しまれています。



## みんなで鳴らそう! ボディパーカッション

ロック のリズム

ドッ! ドッ! ドッ! ドッ! ドッ! ドッ!

ラテン のリズム

トッ! トッ! トッ! トッ! トッ!

日本 のリズム

どん! どん! どん! どん! どん!

……クラシックはどんなふうに表現するかな? 「運命」をいっしょにやってみよう!

## 日本の歌を聴こう! 「浜辺の歌」

作詞: 林古溪 作曲: 成田為三

1. あした浜辺を さまよえば  
昔のことぞ しのばるる  
風の音よ 雲のさまよ  
寄する波も 貝の色も

2. ゆうべ浜辺を もとおれば  
昔の人ぞ しのばるる  
寄する波よ 返す波よ  
月の色も 星の影も

歌の「し」をかくまおう!